

街へ、暮らしへ、広がる近鉄ネットワーク

証券コード9041



www.kintetsu.jp

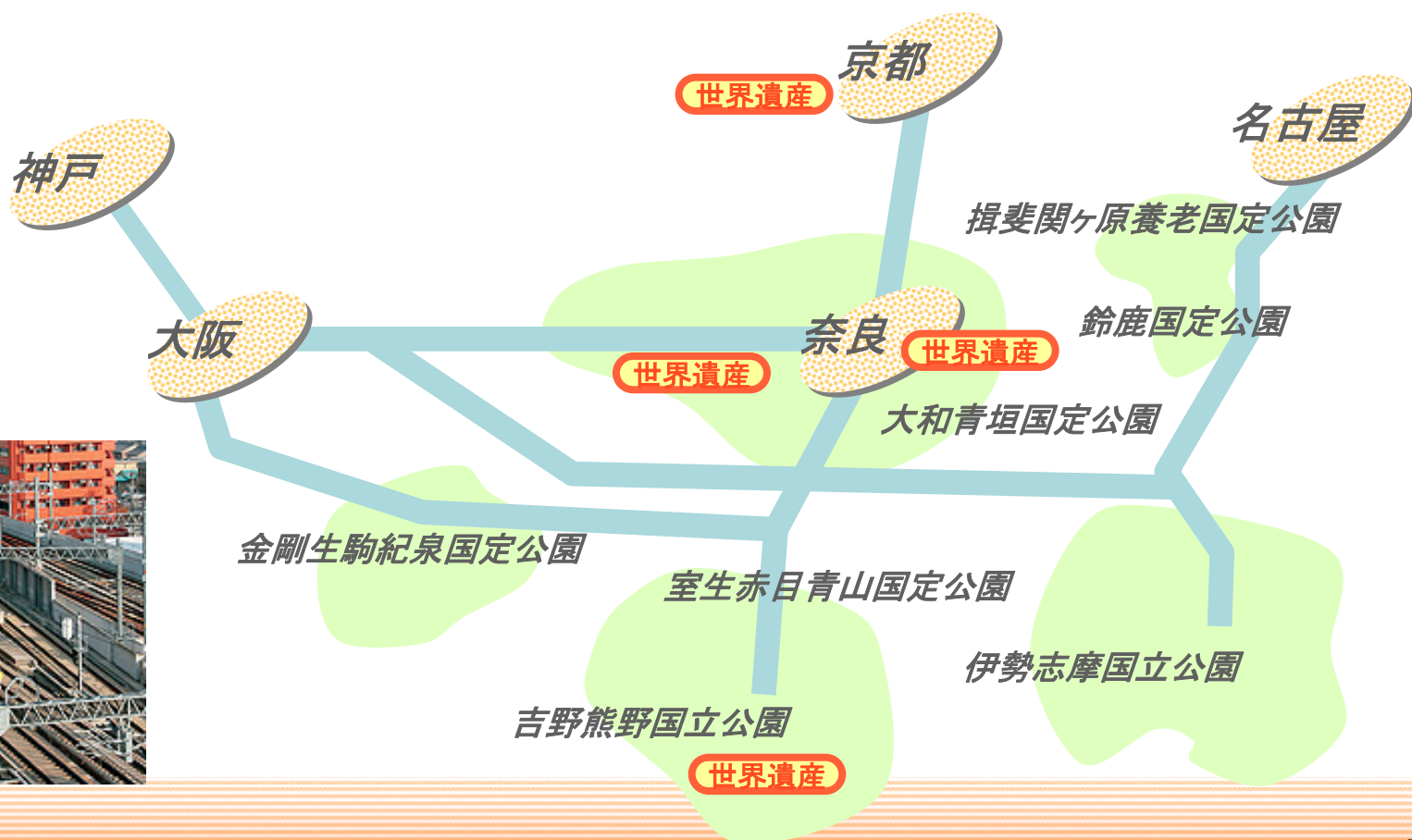
09年3月期 第2四半期決算説明会



- I. 09/3月期 第2四半期決算の概要
- II. 09/3月期 通期計画
- III. 近鉄グループ経営計画 進捗状況

2008年11月18日

I. 09/3月期 第2四半期決算の概要



第2四半期決算トピックス

鉄軌道事業

- ◆ 奈良線八戸ノ里・瓢箪山間連続立体交差化工事、阪神相互直通に伴う施設改良工事、新型ATS設置工事、京都・難波・阿部野橋各駅施設改良工事などを推進
- ◆ 08/5月 : 阪神との相互直通運転開始(09/3/20予定)に向け、試運転を開始
- ◆ 08/6月 : 主要路線の一部区間で新型速度制限用ATSの運用を開始

ホテル・レジャー事業

- ◆ 08/4月 : ホテルニューアルカイクの事業を譲り受け、近鉄直営ホテルとして営業開始

流通事業

- ◆ 08/5月 : 近鉄難波駅構内ショッピングモール「Time'sPlace」(第1期)開業
- ◆ 08/9月 : 近鉄百貨店阿倍野本店南側に新商業施設「and(アンド)」を開業

不動産事業

- ◆ 08/4月 : 近鉄奈良駅南側に新商業施設「な・ら・ら」を開業
- ◆ 08/7月 : ローレルスクエア尼崎ルネ・ガーデンテラス(総戸数463戸)を竣工・引渡

グループ再編

- ◆ 08/8月 : クラブツーリズムを連結子会社化

第2四半期決算トピックス

■ 経営成績

◆ 売上高＝4,641億円（＋344億円、＋8.0％）

鉄軌道部門で春の行楽期での長距離旅客の減少等があったが、鉄道旅客収入は微減にとどまる
流通部門は前年下半期からの近商ストア連結化で、百貨店部門の減収を差し引き増収
不動産部門が大型マンション分譲により、賃貸ビル売却に伴う賃貸料の減を差し引き増収

◆ 営業利益＝281億円（▲38億円、▲11.9％）

鉄軌道部門で主に退職給付費用の増により減益
百貨店部門は減収に売場改装等に伴う償却負担増が加わり減益
不動産部門が売上高増加や阿部野橋ターミナルビル買取による賃借料の減により増益

◆ 経常利益＝184億円（▲52億円、▲22.1％）

持分法投資利益は改善したが、受取配当金の減等により金融収支は悪化

◆ 四半期純利益＝112億円（▲88億円、▲43.8％）

特別損失が前年に商品券等引換損失引当金繰入額等を計上していたため減少
法人税等が前年に子会社整理に伴い税負担が減少していたため増加

■ 設備投資

◆ 286億円（＋110億円）

鉄道車両（通勤車8両）新造、志摩観光ホテルベイスイート建設、ホテルニューアルカニック取得、近鉄百貨店阿倍野本店南側新商業施設「and（アンド）」建設 等

セグメント別実績

(億円:%)	08/3 上期	09/3 上期	前年同期比増減		当初計画 (5/15発表)
	営業収益	営業収益			
	営業利益 (営業利益率)	営業利益 (営業利益率)	金額	率(%)	
運 輸 業	1,154	1,123	▲ 31	▲ 2.7	1,120
	208 (18.0)	179 (16.0)	▲ 28	▲13.9	170
レジャー・サービス業	643	654	10	1.6	670
	2 (0.3)	▲ 4 (▲0.7)	▲ 6	—	7
流 通 業	2,040	2,307	267	13.1	2,390
	20 (1.0)	5 (0.3)	▲ 14	▲70.6	17
不 動 産 業	540	657	116	21.6	740
	77 (14.2)	94 (14.4)	17	23.2	100
そ の 他 の 事 業	258	245	▲ 13	▲ 5.1	270
	11 (4.5)	3 (1.3)	▲ 8	▲72.0	4
合 計	4,297	4,641	344	8.0	4,800
	319 (7.4)	281 (6.1)	▲ 38	▲11.9	300

[売上高の主な増減要因]

- ・運輸業で08/3下期より名阪近鉄バスを連結除外 -23
- ・流通業で08/3下期より近商ストアを新規連結 +314、百貨店部門の減収 -37
- ・不動産業で大型マンションの分譲により不動産販売が増加 +129

業績の概要

(億円:%)	08/3 上期		09/3 上期		前年同期比増減		当初計画 (5/15発表)
		構成比		構成比	金額	率(%)	
売上高	4,297	100.0	4,641	100.0	344	8.0	4,800
営業利益	319	7.4	281	6.1	▲ 38	▲ 11.9	300
経常利益	236	5.5	184	4.0	▲ 52	▲ 22.1	210
特別利益	20		22		2	10.6	
特別損失	39		15		▲ 24	▲ 61.6	
四半期純利益	201	4.7	112	2.4	▲ 88	▲ 43.8	130

1株当たり純利益 11円82銭

6円65銭

(注)連結子会社数 54社(前期末比1社増) 持分法適用会社数 7社(前期末比▲2社減)

(億円)	08/3 上期	09/3 上期	比較増減額
設備投資	175	286	110
減価償却費	199	213	14

貸借対照表の主な増減

(億円:%)	08/3		08/9		比較 増減額
		構成比		構成比	
流動資産	3,691	20.0	3,703	19.9	12
固定資産	14,777	80.0	14,942	80.1	165
うち事業用資産	13,244		13,421		177
資産合計	18,474	100.0	18,653	100.0	178
流動負債	6,353	34.4	5,921	31.8	▲ 432
固定負債	10,222	55.3	10,807	57.9	584
負債合計	16,576	89.7	16,728	89.7	152
うち借入金・社債	12,610		12,567		▲ 42
純資産合計	1,897	10.3	1,924	10.3	26
うち利益剰余金	▲ 118		▲ 66		51
負債、純資産合計	18,474	100.0	18,653	100.0	178

[主な増減要因]

資 産

- ・連結子会社増 +289
- ・設備投資 +286
- ・減価償却 -213
- ・未収金回収 -214

負 債

- ・連結子会社増 +274
- ・既存会社で借入減 -72
- ・退職給付引当金 -65

	08/3	09/3
一株当たり純資産(円)	106.00	107.64
自己資本比率(%)	9.8	9.8

キャッシュフローの状況

(億円)	08 / 3 上期	09 / 3 上期	比較増減額
営業活動によるキャッシュフロー	364	357	▲ 7
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 159	▲ 119	40
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 211	▲ 120	90
現金及び現金同等物の期末残高	347	375	27

[キャッシュフローの当期の状況と対前年同期比増減]

営業活動

- 営業利益は減少したが、大型マンション引渡しで販売土地建物の資金回収額が増加し、全体としては前年同期並の357億円を確保

投資活動

- 志摩観光ホテルベイスイート建設等の固定資産取得に308億円(前年同期比93億円増)を支出し、工事負担金等の受入等を差し引き、全体としては前年同期比40億円減となる119億円を支出

財務活動

- 借入金・社債の減少や期末配当金の支払い等により、全体としては前年同期比90億円減となる120億円を支出

Ⅱ. 09 / 3月期 通期計画



セグメント別計画

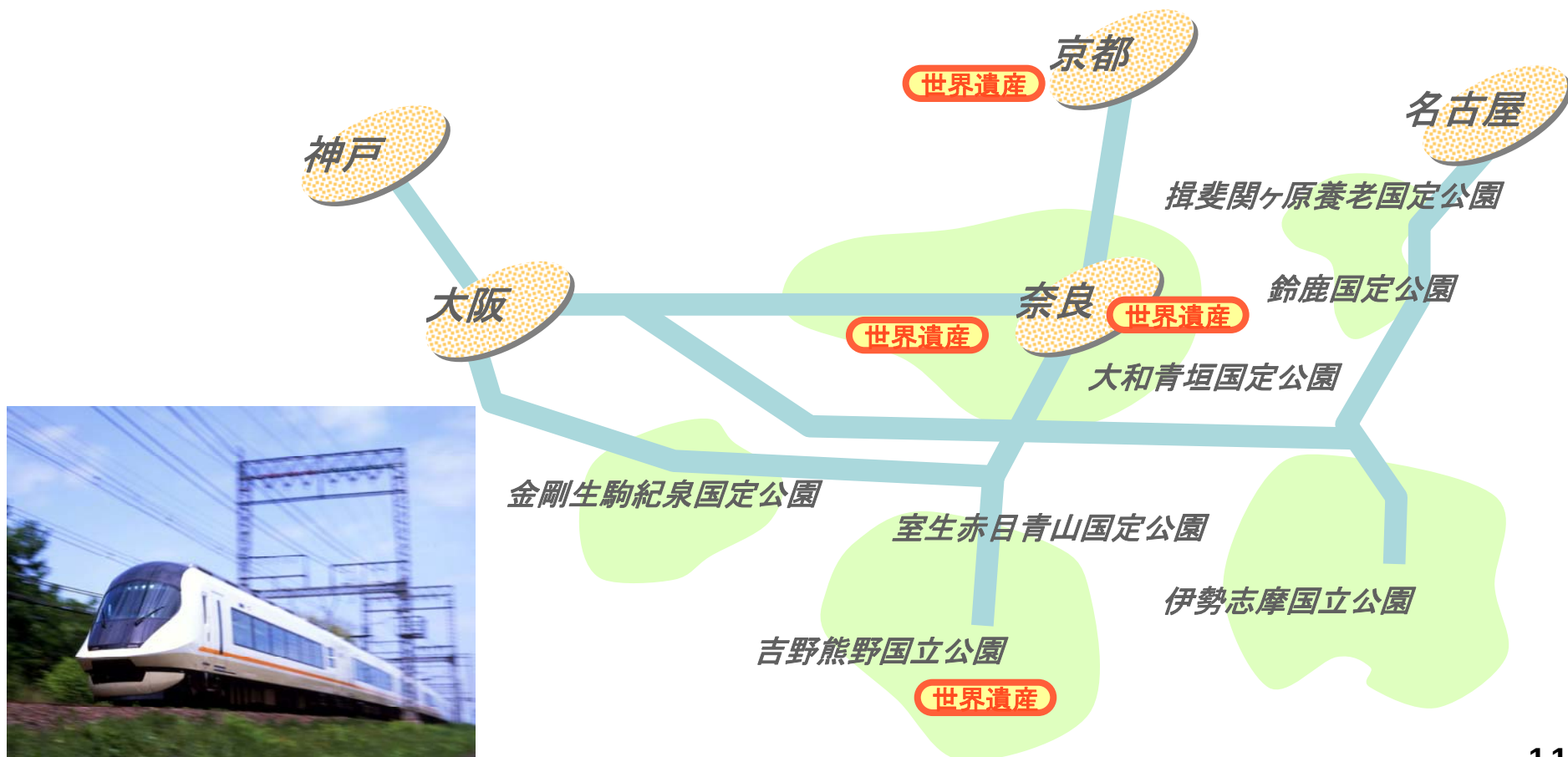
(億円:%)	08/3期 実績	09/3期 計画	前期比増減		当初計画 (6/27発表)
	営業収益	営業収益			
	営業利益 (営業利益率)	営業利益 (営業利益率)	金額	率(%)	
運 輸 業	2,297	2,260	▲ 37	▲ 1.6	2,270
	384 (16.7)	327 (14.5)	▲ 57	▲15.0	332
レジャー・サービス業	1,328	1,970	641	48.3	1,980
	23 (1.7)	5 (0.3)	▲ 18	▲78.3	28
流 通 業	4,501	4,700	198	4.4	4,850
	40 (0.9)	20 (0.4)	▲ 20	▲50.7	43
不 動 産 業	1,322	1,250	▲ 72	▲ 5.5	1,310
	106 (8.0)	107 (8.6)	0	0.8	121
そ の 他 の 事 業	478	520	41	8.7	540
	17 (3.6)	7 (1.3)	▲ 10	▲59.2	12
合 計	9,253	10,000	746	8.1	10,200
	571 (6.2)	470 (4.7)	▲101	▲17.8	540

通期計画の概要

(億円:%)	08/3期 実績		09/3期 計画		前期比増減		当初計画 (6/27発表)
		構成比		構成比	金額	率(%)	
売上高	9,253	100.0	10,000	100.0	746	8.1	10,200
営業利益	571	6.2	470	4.7	▲ 101	▲ 17.8	540
経常利益	418	4.5	270	2.7	▲ 148	▲ 35.5	350
当期純利益	232	2.5	200	2.0	▲ 32	▲ 14.1	250

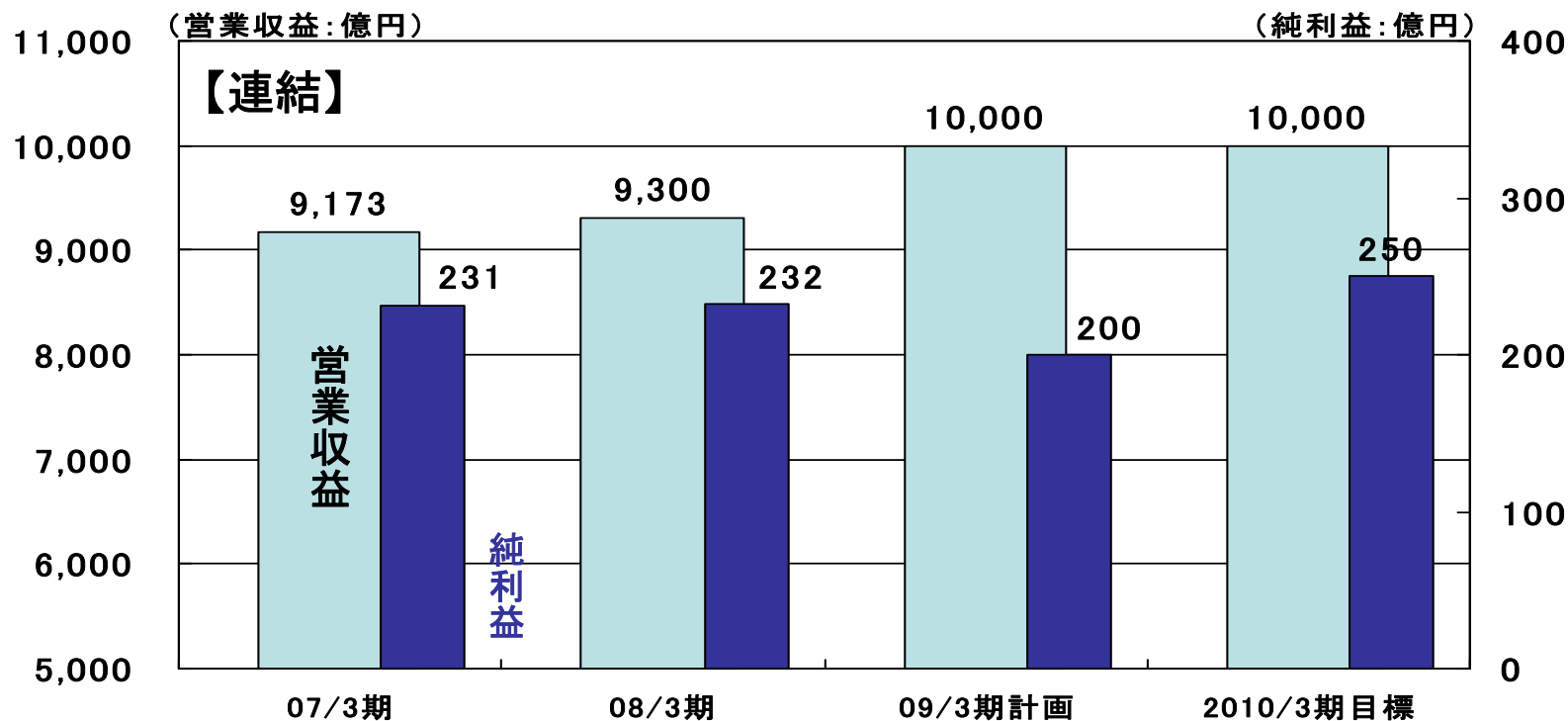
(億円)		08/3期 実績	09/3期 計画	比較増減額
設備投資		1,218	795	▲ 423
運輸業		811	338	▲ 473
レジャー・サービス業		74	150	75
流通業		121	194	72
不動産業		233	99	▲ 134
減価償却費		407	460	52
借入金・社債残高		12,610	12,800	189

Ⅲ. 近鉄グループ経営計画 進捗状況



グループ経営計画の概要

	(億円)	07/3期	08/3期	09/3期計画	2010/3期目標
連結	営業収益	9,173	9,253	10,000	10,000
	当期純利益	231	232	200	250
	有利子負債	12,359	12,610	12,800	12,000以内
単体	営業収益	2,864	2,939	2,860	3,000
	当期純利益	90	76	170	150



「経営計画」の経緯と次期計画

再構築期

基盤確立期

創業百周年

第2の創業期

2005年

2006年～2009年

2010年

2011年…2014年…

●05年12月発表

「近鉄グループ経営計画(2006～2009年度)」

●09年度発表(予定)

次期「経営計画」(2010年度～)

1, 経営計画の各プロジェクトの着実な推進

◆05年3月 けいはんな線開業

◆07年7月 ホテル近鉄アкваヴィア伊勢志摩開業

◆08年4月 ホテルニューアルカイク取得

◆08年10月 京都駅「近鉄名店街みやこみち」リニューアル開業

◆08年10月 「志摩観光ホテル ベイスイート」開業

◆09年3月 阪神電鉄との相互直通運転開始

10年 平城遷都1300年祭

◆10年春 あやめ池遊園地跡地街開き

◆10年夏 上本町ターミナル新複合ビル開業

⋮

◆11年秋 京都駅新ホテル開業

13年 伊勢神宮式年遷宮

◆14年 阿部野橋ターミナルビル開業

2, グループ経営の強化

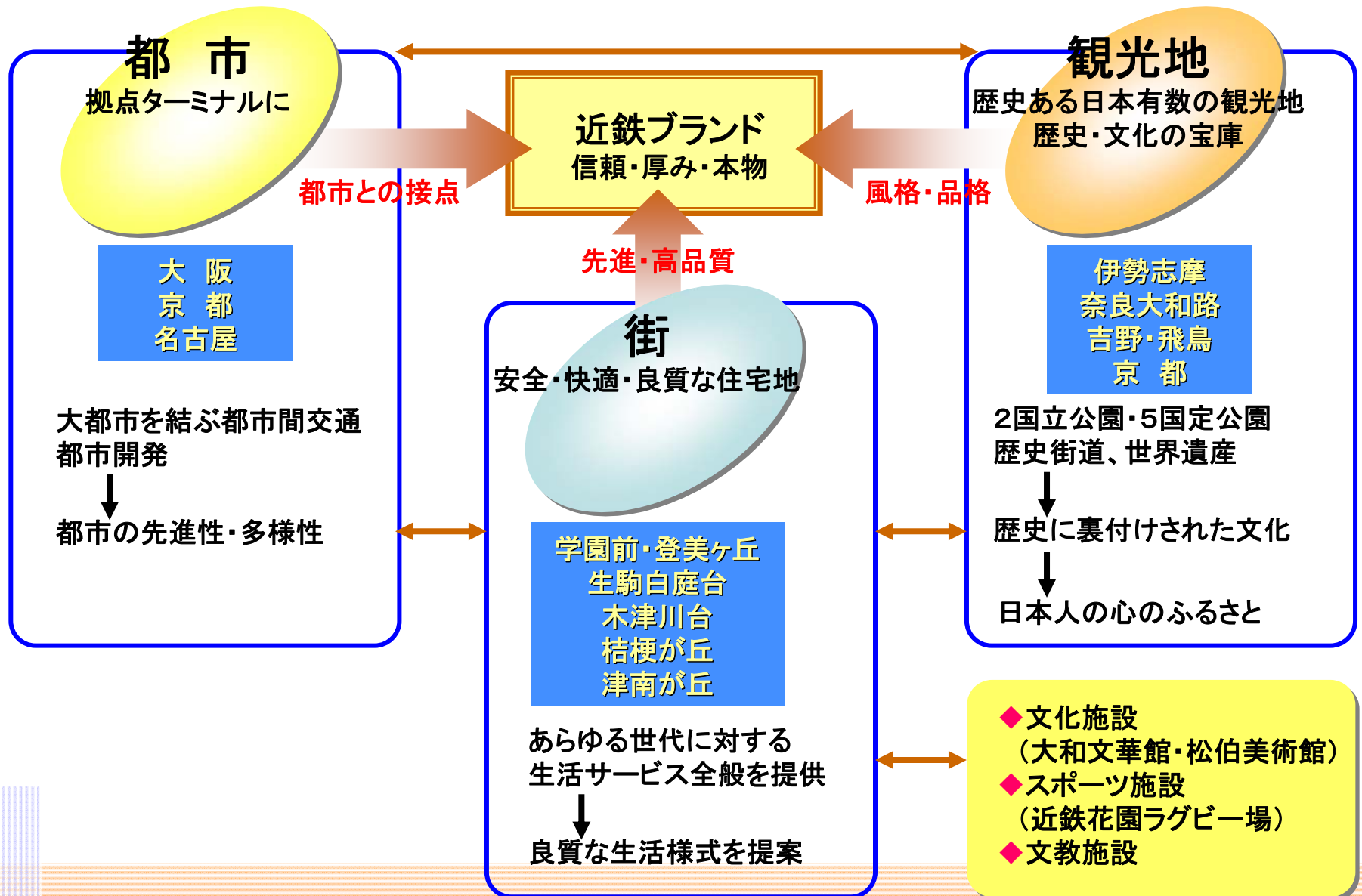
◆07年10月 けいはんなバスホールディングス設立

◆08年11月 グループ旅行会社提携強化

◆09年3月 グループ百貨店会社集約

⋮

事業構築理念



4つのコア事業の推進

鉄道事業

- ◆ 09年3月、**阪神電鉄との相互直通運転開始**による実質的な沿線拡大を機に需要喚起
- ◆ **伊勢志摩・奈良大和路**といった沿線観光地の活性化
- ◆ **阿部野橋、上本町、京都等のターミナル整備**により利便性・快適性の向上
- ◆ 新型ATSの整備等、安全投資を確実に実施

不動産事業

- ◆ ターミナル整備や主要駅の周辺開発により、将来の賃貸収益の基盤強化を図る
- ◆ けいはんな線沿線やあやめ池遊園地跡地開発といった良好な街づくりによる沿線価値向上と資金回収推進

流通事業

- ◆ **(株)近鉄百貨店、阿倍野本店建て替え**2014年に向け、収益向上、利益率の向上を図る
- ◆ **難波駅構内、西大寺駅構内のショッピングモール化**など、顧客ニーズにあった駅ナカ事業の積極的展開

ホテル・レジャー事業

- ◆ 08/4月**ホテルニューアルカイク**取得、08/10月**志摩観光ホテルベイスイート**開業等、直営ホテル増加による収益基盤の確立
- ◆ 既存ホテルのリニューアル等、ホテル間競争力の強化と収支向上の継続
- ◆ 「伊勢志摩近鉄リゾート」という地域統一ブランドでグループ会社間の営業連携、施設連携を強化

主要プロジェクトの進捗状況

■ 阿部野橋ターミナルビル整備

- 地域ポテンシャル
- 文化と緑が集う「阿倍野・天王寺」地区
- 阿部野橋ターミナル周辺整備状況
- 駅直結の一大複合ターミナルビル

■ 阪神電鉄との相互直通運転

- 沿線の広がり
- 相互直通運転の概要
- 難波ターミナル整備および周辺の当社オフィスビル
- 難波駅サービス施設・駅ナカショッピングモール整備
- 着々と進む上本町駅ターミナル整備
- 新複合ビル建設を中心とする上本町ターミナル整備
- 阪神尼崎駅近隣ホテルの取得

■ 京都駅ターミナルビル整備

- 京都駅高架下商業施設「近鉄名店街」リニューアル

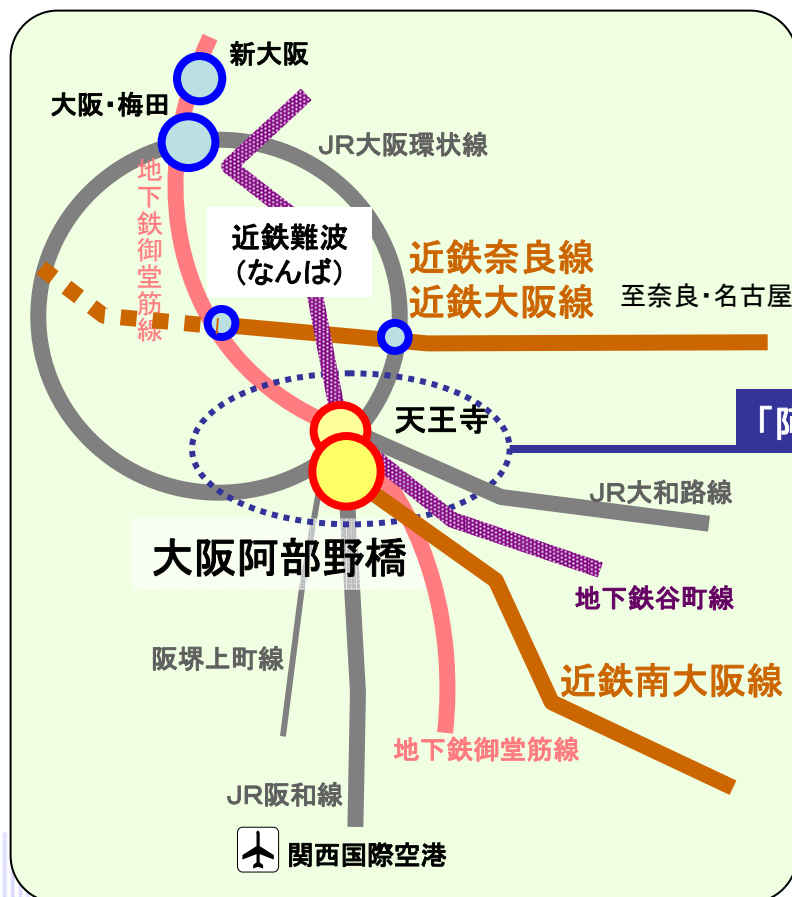
■ 伊勢志摩活性化事業

- 新規ホテル開業

地域ポテンシャル

大阪における、“南の玄関口”としての「阿倍野・天王寺」地区

Potential ① ターミナル乗降 80万人/日
(近鉄、JR、地下鉄、阪堺)



Potential ② 近鉄百貨店阿倍野本店商圈

- 商圈人口 660万人(280万世帯)
- 年間売上 1,367億円(07年度)
- 1日来店客数 8万人

「阿倍野・天王寺」地区

関西国際空港

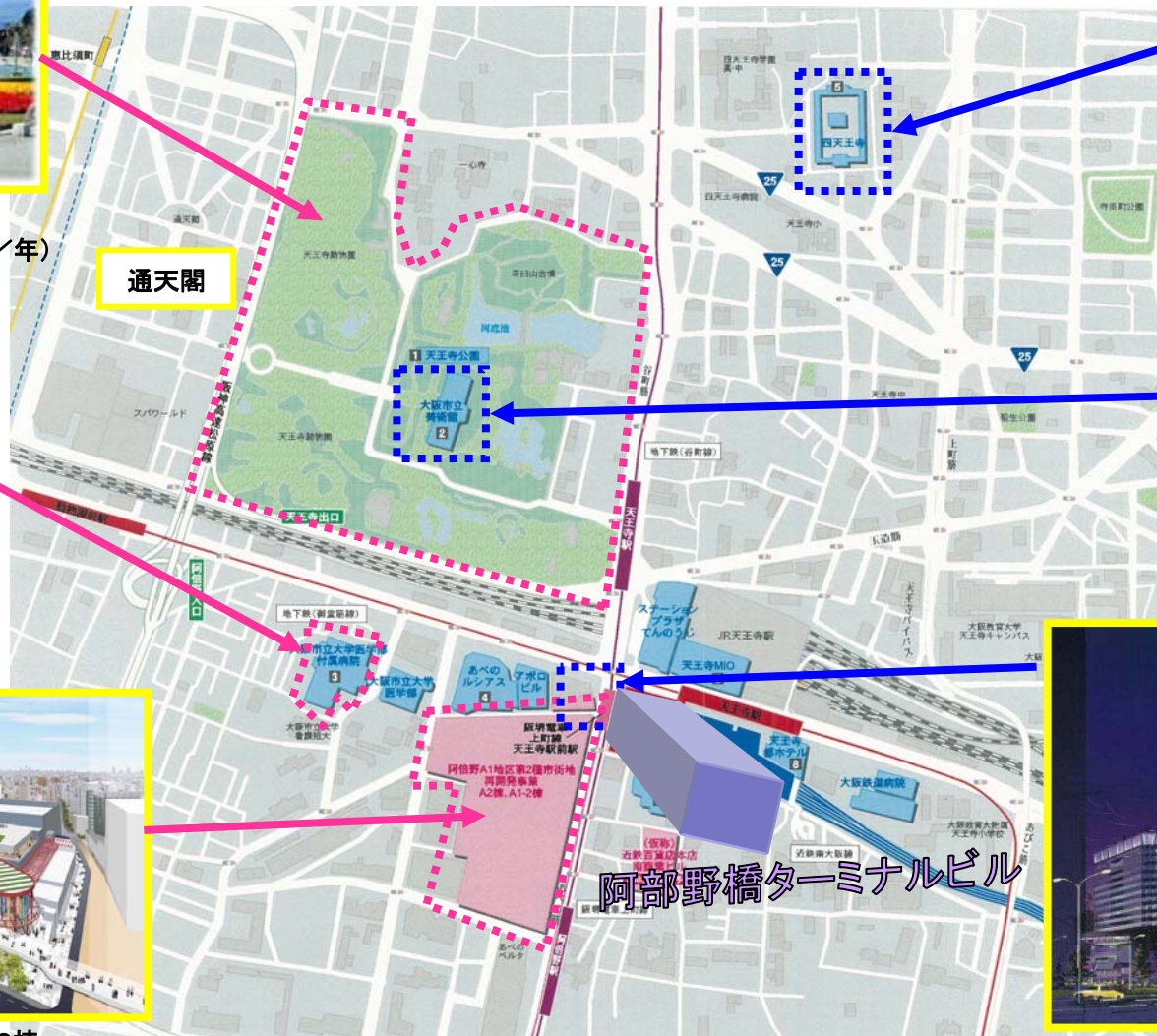


660万人

Potential ③ ベイエリアでの開発
堺でのシャープ関連液晶コンビナート進出

文化と緑が集う「阿倍野・天王寺」地区

緑と都市機能の充実したエリア



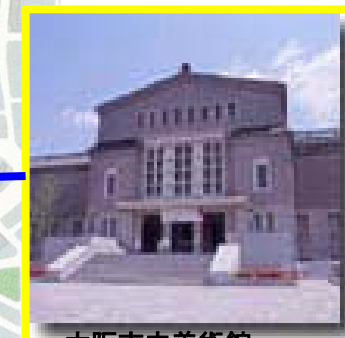
天王寺公園
(動物園入場者数約190万人/年)



大阪市立大学医学部
附属病院
(病床:1009床)



四天王寺
(年間参詣者数約100万人)



大阪市立美術館
(年間入場者数約70万人)



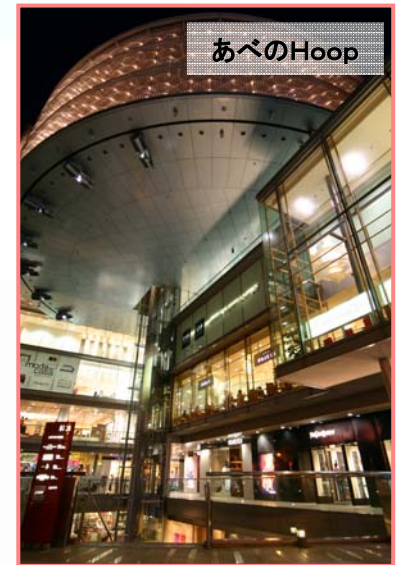
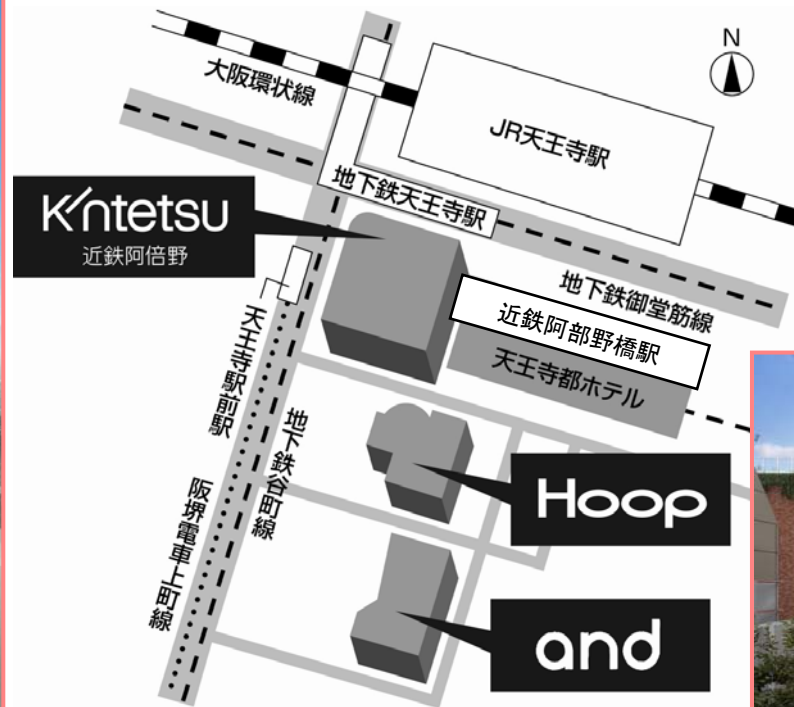
阿倍野市街地再開発事業A1-2棟
延床面積26,350㎡、2011年度完成予定
(ホテル、商業施設等)

阿倍野市街地再開発事業A2棟
延床面積183,700㎡、2011年春完成予定
(イトーヨーカドー、東急ハンズ、専門店街)

阿部野橋ターミナル周辺整備状況

阿部野橋ターミナルビル建設に先立ち、近鉄百貨店南側に新商業施設を展開
阿倍野地区は近鉄百貨店3館体制に

本年9月に新・商業スポット「and(アンド)」がオープン
近鉄百貨店阿倍野本店、Hoop、andの3館体制に



阿部野橋ターミナルビル整備 駅直結の一大複合ターミナルビル



先進的な都市機能をひとつのビルに集積

Observatory

Hotel

- ・ホテル
約34,000㎡
19・20階、
38～56階
(約360室)

Office

- ・オフィス
約62,000㎡
17・18階、
21～36階

Museum

Department Store

- ・百貨店
売場面積約100,000㎡
B2階～14階

Station

地下5階

地上60階
高さ約300m

高さ300mの爽快空間
展望台、スカイガーデン

オフィス

最先端の大規模オフィス

ホテル

Terminal Hotel

国際級ホテル

美術館

文化と憩いの
空中都市型美術館

百貨店

日本最大の
都心複合型百貨店

コンコース

人に優しく便利な駅 大阪阿部野橋駅

沿線の広がり

のりかえなしで、神戸へ、奈良へ。

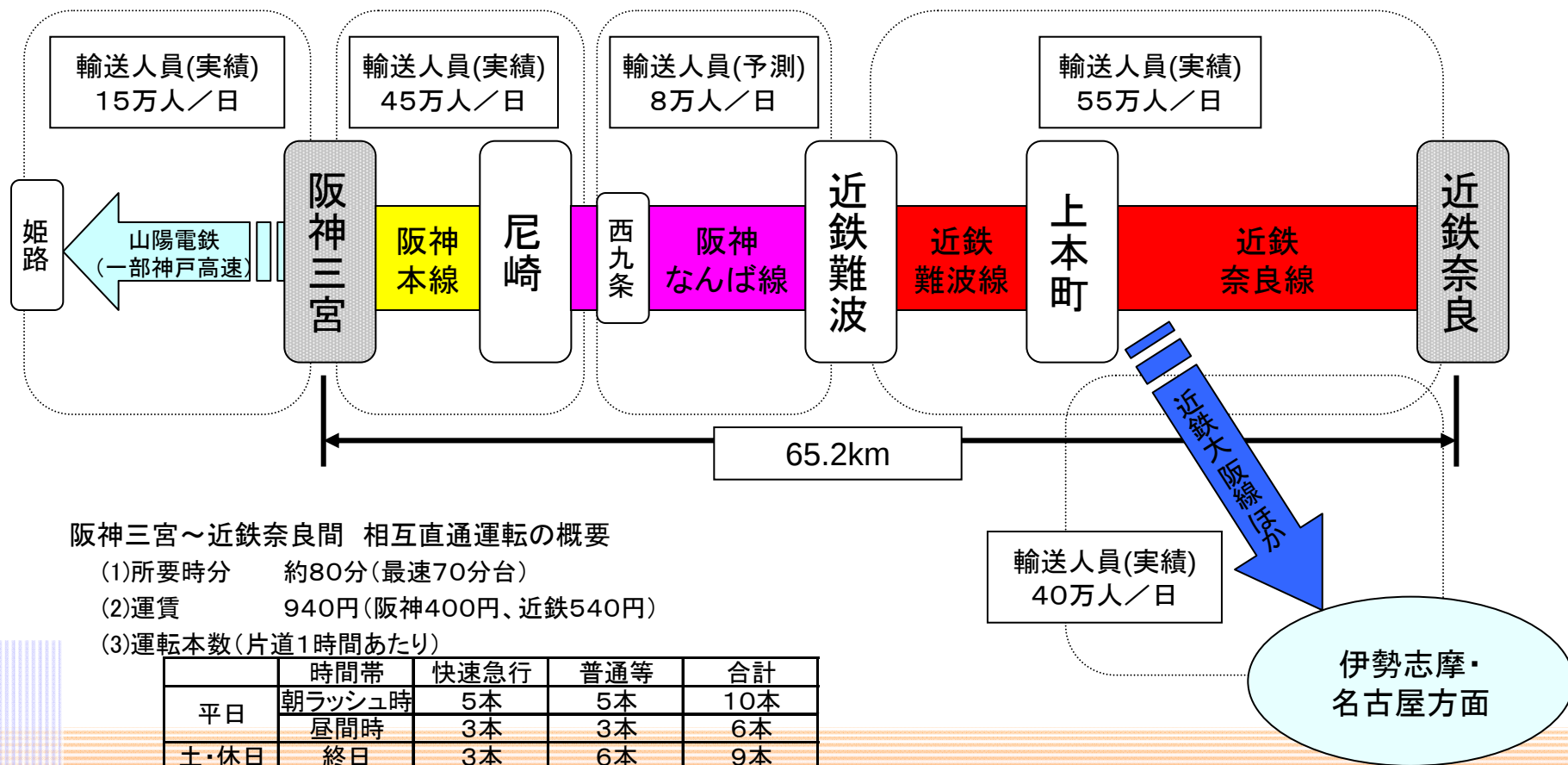
阪神電鉄との相互直通運転により、
神戸・大阪・奈良が一つにつながります



相互直通運転の概要

阪神三宮駅から近鉄奈良駅まで乗り換えなしの直通運転(平成21年3月20日開業)

将来は、西は姫路、東は伊勢志摩、名古屋へ特急運転



難波ターミナル整備および周辺の当社オフィスビル

難波ターミナル乗降 90万人 / 日

(近鉄、南海、地下鉄御堂筋線・四つ橋線・千日前線、JR)

道頓堀橋

御堂筋グランドビル

地上15階、地下1階
延床面積26,000㎡



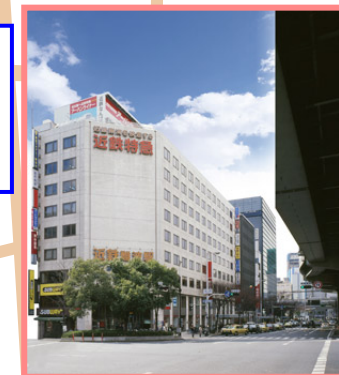
千日前線なんば駅

近鉄難波駅

御堂筋線なんば駅

近鉄難波ビル

地上9階、地下2階
延床面積13,000㎡



四つ橋線なんば駅

近鉄難波駅
駅サービス施設
ショッピングモール整備



新難波ビル

地上21階、地下1階
延床面積25,000㎡

JRなんば駅

南海なんば駅

難波駅サービス施設・駅ナカショッピングモール整備

阪神電鉄との相互直通運転を控え、
駅サービス施設・駅ナカショッピングモールを整備

◎駅コンコース・出札窓口改装、エスカレータ増設

◎駅ナカショッピングモール『Time's Place』

店舗数：15店、店舗面積：約600㎡

年間売上：約20億円（計画）



駅コンコース・出札窓口美装化



駅ナカショッピングモール『Time's Place』



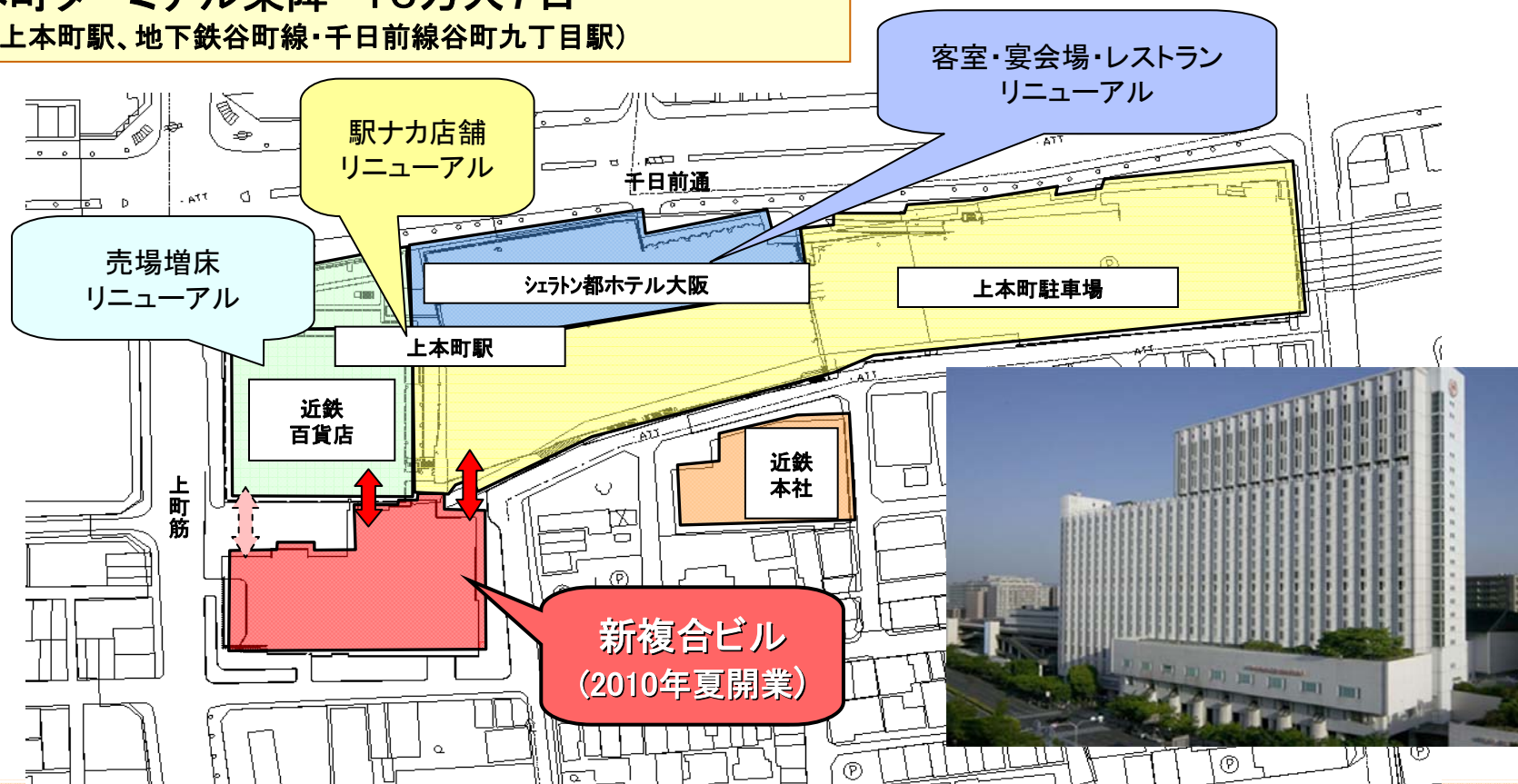
着々と進む上本町ターミナル整備

交通拠点で文教地区である上本町を 「文化の発信拠点」に
近鉄劇場跡地に、新歌舞伎座 を中心とした新複合ビルを建設

◆阪神電鉄との 相互直通運転開始(09年3月) により阪神地区からのアクセス向上

上本町ターミナル乗降 16万人 / 日

(近鉄上本町駅、地下鉄谷町線・千日前線谷町九丁目駅)



新複合ビル建設を中心とする上本町ターミナル整備

- ◆ 新歌舞伎座の専用新劇場(年間75万人利用)を中心とした店舗、オフィス複合ビルを建設(2010年夏開業)
- ◆ 既存の近鉄百貨店上本町店とシェラトン都ホテル大阪との回遊性向上
- ◆ シェラトン都ホテル大阪、上本町駅ナカ店舗、近鉄百貨店も順次リニューアル

三宮

難波

上本町

- ◆ 上本町駅ナカ店舗リニューアル



上本町駅南複合ビル(仮称)

- ◆ 延べ面積……………約38,000㎡
地下1階、地上13階
- ◆ うち 商業施設面積……約10,000㎡
- ◆ 劇場延べ面積……約 8,000㎡
- ◆ オフィス賃貸面積… 約 7,000㎡



近鉄百貨店

- ◆ 売場増床リニューアル



シェラトン都ホテル大阪

- ◆ 客室・宴会場・レストランリニューアル

奈良

阪神尼崎駅近隣ホテルの取得

- ◆ 阪神尼崎駅近隣に立地する「ホテルニューアルカイク」を取得
- ◆ 平成20年4月1日より、都ホテルズ&リゾーツ19番目のホテルとして運営

◆ ホテル概要

- 地下1階、地上22階(高さ100m)
- 客室185室、宴会場16室、レストラン・ラウンジ7箇所
- 婚礼施設、フィットネス施設、オフィス

- ◆ (財)尼崎市総合文化センターが所有・運営する「アルカイクホール」に隣接。同ホールの利用人員は、年間約50万人。



京都駅高架下商業施設「近鉄名店街」リニューアル

08年10月「近鉄名店街みやこみち」全面リニューアルオープン

国際観光都市・京都、奈良大和路への玄関口である京都駅において、観光のお客様はもちろん地元のお客様まで、幅広いニーズに対応できる商業施設へとリニューアル。

「近鉄名店街みやこみち」概要

店舗面積 約3,400㎡(従来より600㎡増床)

店舗数 物販・サービス、飲食など41店舗

※京都駅ターミナル整備では、この他に以下の事業を推進中

- ①宿泊特化型ホテル新設(2011年秋完成)
- ②4号線新設(2012年春完成)



京都駅4号線および新ホテル



近鉄名店街みやこみち

新規ホテル開業

伊勢志摩近鉄リゾートとして、2つの新規ホテルを開業。
2013年の伊勢神宮式年遷宮に向けて伊勢志摩地区の事業強化。

07年 7月 ホテル近鉄アクアヴィラ伊勢志摩開業

客室107室、コテージ20棟、天然温泉大浴場、室内温水プール、国際会議場、レストランほか

08年10月 志摩観光ホテル ベイスイート開業

客室50室(全室スイートルーム)、フレンチレストラン、和食レストラン、スパほか
※これまでの志摩観光ホテルは、「志摩観光ホテル クラシック」に改称



ホテル近鉄アクアヴィラ伊勢志摩



志摩観光ホテル ベイスイート



グループ経営の強化

再構築期

基盤確立期

創業百周年

第2の創業期

2005年

2006年 ～ 2009年

2010年

2011年・・・2014年・・・

●05年12月発表

「近鉄グループ経営計画(2006～2009年度)」

●09年度発表(予定)

次期「経営計画」(2010年度～)

2, グループ経営の強化

- グループ間の営業連携強化のため、
戦略的・効率的な再編をすすめる
- グループ統治体制の整備、強化
- 本社による事業分野ごとの責任経営体制の構築

◆07年10月 けいはんなバスホールディングス設立

◆08年11月 グループ旅行会社提携強化

◆09年3月 グループ百貨店会社集約

⋮

事業環境整備、強化推進ならびに事業分野ごとの戦略検討

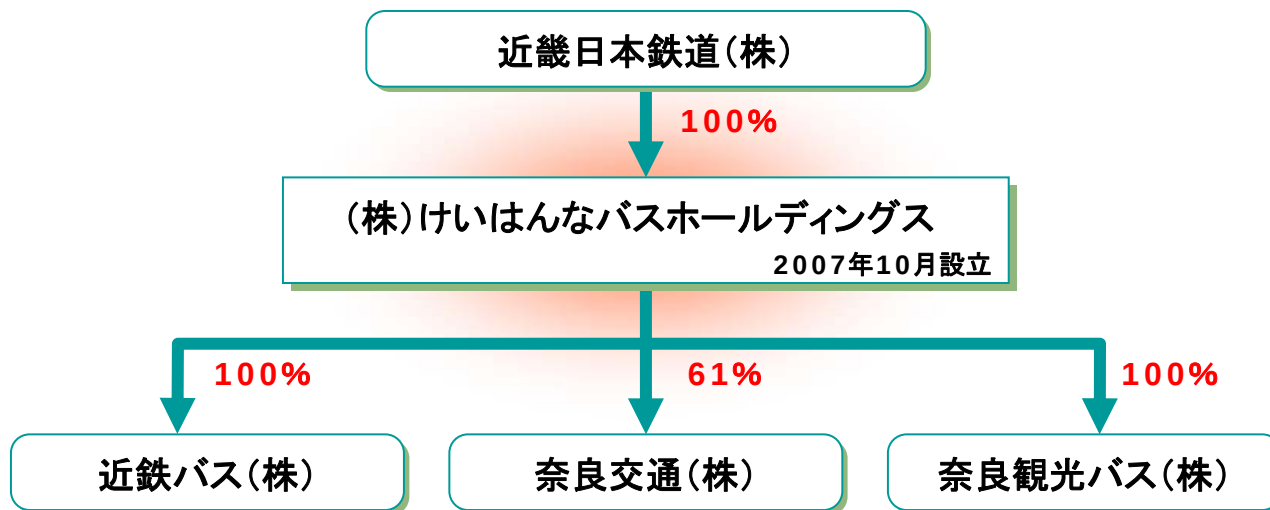
● 次期「経営計画」にてグループ戦略策定

グループバス会社の再編

グループバス会社を統括する中間持株会社を設立（2007年7月25日プレス発表）

- ◆ 2007年10月、当社の子会社である近鉄バス(株)、奈良交通(株)、奈良観光バス(株)を統括する中間持株会社「(株)けいはんなバスホールディングス」を設立
- ◆ 経営資源の効率的な配分と事業構造の最適化を図る

【グループバス会社の統括体制】



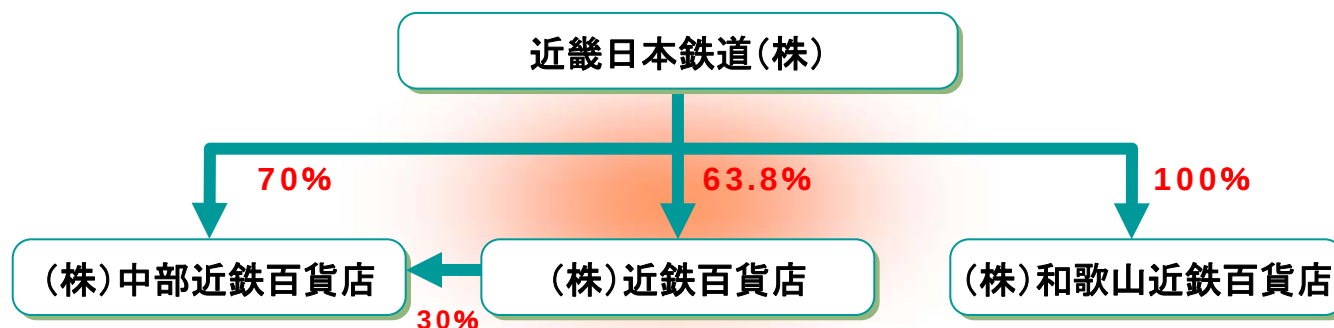
グループ百貨店会社の再編

近鉄グループ百貨店3社を経営統合

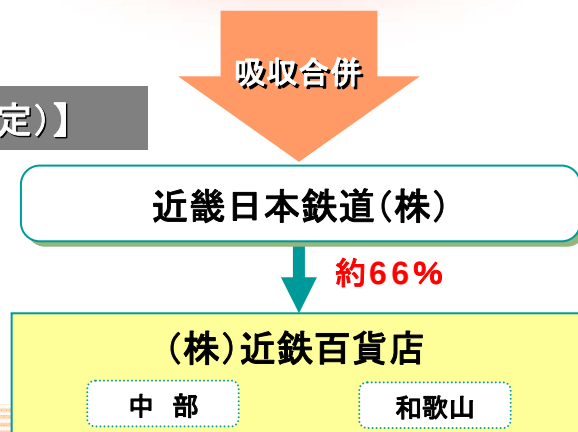
(08年9月25日プレス発表、09年3月1日合併予定)

- ◆ 近鉄グループの百貨店として、主に近畿圏においてそれぞれ独立して事業を展開してきた、(株)近鉄百貨店、(株)中部近鉄百貨店、(株)和歌山近鉄百貨店の3社を経営統合
- ◆ 経営の効率化、営業力の強化を図る

【現状(持株比率は08年8月31日現在)】



【吸収合併後(09年3月1日予定)】

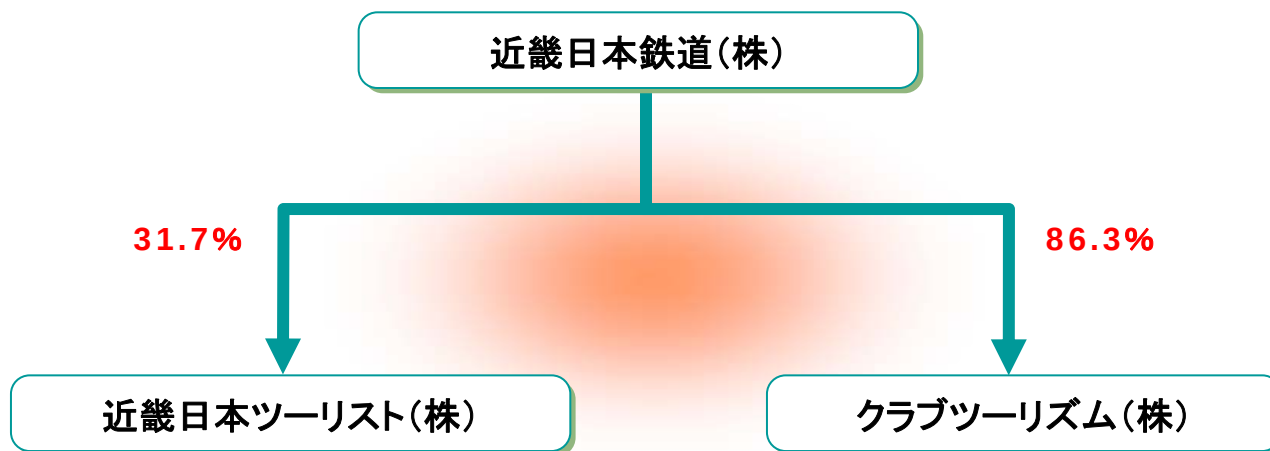


* (株)中部近鉄百貨店、(株)和歌山近鉄百貨店は解散

グループ旅行会社の提携強化

近鉄グループ旅行会社2社の業務提携（2008年11月11日プレス発表）

- ◆ 2008年8月 クラブツーリズム(株)を子会社化（2008年6月27日プレス発表）
投資事業組合（ファンド）が保有する株式を取得し、同社を子会社化。
- ◆ 2008年11月 近畿日本ツーリスト(株)とクラブツーリズム(株)の業務提携



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。



お問合せ先

経理部

Tel:06-6775-3465

Fax:06-6775-3691

Mail:ir-info@rw.kintetsu.co.jp